

## 匹見地域協議会（第4回）会議次第

日時 平成31年1月21日（月）16:00～

場所 匹見タウンホール 集会ホール

### 出席者

（委員）藤谷 一剣・齋藤 惟人・大谷 文男・西川 友史・大久保純子  
溝田 洋子・村上 巴・河本 亮・齋藤 光・齋藤 幸士

（益田市）河上副市長・藤岡匹見総合支所長・藤井地域振興課長・田中地域振興課参事  
齋藤分室長・藤本分室長・井上分室長・佐々木分室長  
観光交流課長・都市整備課長

### 1. 開会

### 2. 会長あいさつ

### 3. 報告事項

（1）『(株) ひきみ』の状況について

### 4. その他

次回開催 平成31年 月 日（ ） 時 分～

|       |                                                                                                                                                                                                                             |
|-------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 主催者名  | 匹見総合支所地域振興課                                                                                                                                                                                                                 |
| 会 議 名 | 平成 30 年度 第 4 回 匹見地域協議会                                                                                                                                                                                                      |
| 開催日時  | 平成 31 年 1 月 21 日（月） 16 時 00 分～17 時 50 分                                                                                                                                                                                     |
| 開催場所  | 益田市匹見タウンホール 集会ホール                                                                                                                                                                                                           |
| 出 席 者 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 匹見地域協議会委員（8 名）</li> <li>・ 河上副市長</li> <li>・ 匹見総合支所：藤岡支所長</li> <li>地域振興課：藤井課長、田中参事</li> <li>井上補佐、藤本補佐、佐々木補佐、斎藤補佐</li> <li>大谷</li> <li>観光交流課：梅津課長、岡崎補佐</li> <li>都市整備課：岡崎課長</li> </ul> |

### 【会長あいさつ】

前々から匹見の温泉のことについては人員確保ができないので定休日を増やすとかいろいろ協議の中に上がっていた問題。業績の方も非常に落ち込んでいる状況等の中で取締役会などいろいろ開催された結果についてその報告されるので慎重に審議いただきたい。

### 【報告事項】

#### （１）『(株) ひきみ』の状況について <資料 1 地域振興課参事より説明>

- (株) ひきみは設立が平成 7 年。指定管理者として平成 16 年 10 月 1 日から匹見峡温泉やすらぎの湯、匹見峡温泉宿泊交流施設、匹見峡森林公園レストパークの 3 施設を一括管理。それから平成 19 年 4 月から、匹見中央公園の指定管理を受け、地域福利の厚生、観光関連施設の一体的かつ効率的な運営をおこなってきた。
- 第 25 期の経営の状況は営業の概要として、広島県・山口県を中心としてグラウンドゴルフ団体の集客に取り組んできたが、7 月の広島県を中心とした災害の影響等による自粛により大幅に減少した。自治会、老人会などの営業活動についても広島、山口、島根方面に各 1 名の担当を貼り付けて営業活動を強化し、中央公園、匹見峡レストパークを絡めた合宿の受け入れ、新規顧客の営業活動をおこなってきたが、利用者のニーズが宿泊から日帰りパックに移ってきているということで収益に結び付きにくい状況になってきた。インターネットによる集客を強化するためにホームページのリニューアルを行い、地域の状況やイベント等を発信していくということで営業活動をおこない、地元の野菜などの産直市等地域の活性化にも努めてきた。昨年からは地域との繋がりを強化するというで仕出し弁当にも取り組み、広島のアニメフェスティバルや田舎ライドにも積極的に参加してきた
- 経営改善としまして常勤の取締役の配置や、経営改善会議と経営コンサルタントを招いての改善の取り組みも行ってきたが、最終的には周辺人口の減少に伴う入浴数の減少などがなかなか歯止めがきかず、慢性化した従業員不足により特に宿泊部門がなかなか対応できなかったということもあり、第 25 期の予想では経常利益がマイナスとなり、大幅な赤字が予想されて

いる。

- 第 12 期は合併以降、期末の資本金が 1 番多かった時期で黒字の経営もされていた。第 15 期は直近で最も黒字を出したが、これ以降はずっとマイナスの決算が続いて今に至り、第 24 期の平成 29 年度に資金の方がなくなり、借り入れをおこなって今なんとか続けているという状況で、今期更に赤字が膨らんでいくという状況になっている。
- 利用者数も第 12 期や第 15 期の匹見峡温泉の利用者数は 6 万人ぐらいであったが、最近では 3 万 5 千人から 3 万人というところになっており、経営的にも非常に厳しい状況になっている。
- レストパークは 1 万 3 千人が 8 千人。中央公園の方は 7 千人が 5 千人となっているが、匹見峡温泉の入浴者、宿泊共に減ってきているということで経営の方に影響を与えている状況になっている。
- このような経営状況の中で会社として今後の経営改善計画等についてもいろいろ相談してきたが、最終的には 1 月 19 日に取締役会が開催され、1 月 31 日をもって現在受けている匹見峡温泉、レストパーク、中央公園の指定管理業務を中止する決議をされた。

#### 《質疑・意見》

- 指定管理の期間は残っているのか。
  - ▷ 1 年残っている。
- 2 月 1 日からはがどうなるのかというのは全く不明ということか。従業員も 1 月 31 日で解雇か。
  - ▷ 会社として取締役会で 1 月 31 日を持って市の方に施設の運営については返すことに決定をされたが、市の方としては直営ですぐに管理ということにはなかなかならないので、少し時間をいただくということになるだろうと思う。従業員の対応については会社としての最終的は報告をもらっていない。今日も 18 時から取締役会も開催されるので、その中で議論されると思っている。
- 温泉を閉めると、従業員や木の駅の関係も含め大きな影響が出る。以前から経営状況が悪い中で市としてどう関わってきたのか説明もないままでは住民は納得しない。
  - ▷ 薪ボイラー導入等による経営改善の努力や、集客の面では全日空の関係等いろいろな努力もしてきたが、結局それが及ばなかった。途中設備も修繕をしてきているが、一気に全てをとということにはならない。  
会社としても借り入れもできない現状の中で、判断されたと思っている。
- 温泉については、地域協議会の中でも議論を行わなければならなかった。
  - ▷ 温泉は当時町民の健康増進や集客の 1 つの施設として育てていただいていたのは事実。そこを活用して幅広の定住や都市交流のために施設を活用させていただいていたのは事実。今後この温泉をどう活用できるのかということを皆様の意見を聞きながら考えたい。
- 今後再スタートを切れる取り組みをするというのであれば、現状の中で何を改善してどういう取り組みをすれば少しでも良いものになるのかという議論が必要。
  - ▷ これまで行政としても地域の経済団体の商工会等いろいろな皆様方にお世話になって会社として維持できる方向を探ってきた。しかしながらそれが達成できずに最終的にはもうこれ以上は会社としては運営できないという判断が出て来た。益田市としても 3 施設で 3,600 万円くらい指定管理料も支払っている状況の中で、それ以上のものを更にすぐ出すということにもならないし、温泉を運営に資金繰りをしていただける会社をお願いをするのか、どういう形がいいのかということを、ここで立ち止まって考えていかざるを得ない。
- 3 施設全て休止ということになるだろうが、3 施設を分離して再開する方法もあると思われるがどのように考えているか。
  - ▷ 会社として最終的にどう判断するかということではあるが、温泉については、市が直営で運営することにはならないと考えている。

- 休止について従業員の反応はいかがか。
  - ▷従業員に対しては、会社から具体的な話があると思われる。
- 今日の報告に対し、地域協議会はどのように意見をまとめればよいか。
  - ▷これまで育てていただいた会社が判断されたことについて報告をさせていただいた。本日いただいた意見を持って取締役会で発言をしたい。
- 現在の市の財政状況をみると更に一般財源をつぎ込んで指定管理を続けていくことはできないと感じている。この施設は地区民の健康促進と交流促進、匹見を活性化しようという観点から作ったものなので、絶対に潰してもらっては困る。市としては全力を挙げて次の運営会社への交渉に当たって行く以外はないんじゃないかと思う。そうしたことを要望していきたい。
- 中央公園も都市公園であるので休止することにはならないし、レストパークも県の受託がある。温泉の施設は休止すると傷んでしまう可能性があるし、他の宿泊施設への影響もあるので長期の休止とならないよう検討をいただきたい。
  - ▷中央公園とレストパークについては市の施設であるので、市が管理しなければならない。温泉についても最低限の維持管理を行っていきたい。
- 住民も協力するし、市の職員も何とかしようという気持ちをもっと出してほしい。
- 回数券や帰省客のこともあるので、できる限り早いオープンを。
- いろいろな事業を使って取り組んでほしい。
  - ▷温泉については施設の修繕もあるので、なるべく早く再開する努力はするが、時期については、現段階明言できない。
- 市の関わり方についても体制整備を行うべき。
  - ▷住民と行政が近い関係になっていかないと地域の活性化には繋がらないので、そのような体制がとれるようにしていきたい。
- レストパーク、中央公園をどのようにするのもも早急に対応願いたい。
- 今日の協議会で出された意見を踏まえて、市の責任として対処していきたい。

#### 【その他】

- 公用車の利用は今までどおりできないのか。
  - ▷過去3つの市町がそれぞれ運用してきた経緯があり、見直しを行うところ、継続するところがあるが、一足飛びに行うことはなかなか住民のご理解がいただけるものではないと認識いる。相談し意見を聞きながら進めていく行政でありたいと思っている。